

「幼保小連携だより」 第5号

育ちと学びをつなぐ

新しい年を迎えました。今年も一人ひとりの子どもたちが安心して自分のよさや可能性を発揮できるよう、幼保小連携事業を推進していきたいと考えております。各園や学校の御理解と御協力をお願いいたします。



保護者・地域とともに学ぶ「幼保小連携フォーラム」 ～「学びに向かう力」を育む保育・教育～

12月15日(土) 鶴見区民文化センター サルビアホールにて、保護者・地域とともに学ぶ「幼保小連携フォーラム」を開催しました。当日は、幼保小の保育・教育関係者、保護者・地域の皆様方が市内はもとより、県外からも参加され大盛況でした。400名余の参加がありました。

開会 こども青少年局長挨拶

第1部 実践報告

鳩の森愛の詩瀬谷保育園 園長 瀬沼 幹太 先生

橋幼稚園 教諭 井上 愛也 先生

横浜市立池上小学校 校長 寶來 生志子先生 教諭 門田 由美子 先生

第2部 ポスターセッション 幼保小連携推進地区2年目・3年目

第3部 講演「学びに向かう力」を育む保育・教育

講師 國學院大學 教授 田村 学 先生

実践報告

◇鳩の森愛の詩瀬谷保育園◇

子どもの「やりたい!」の気持ち
がわき起こる環境
づくりを大切に
している園です。



1歳児が、大きな滑り台を楽々と滑る5才児を見ながら、「自分も滑りたい」という思いをもち、確かな意志をもって行動する姿を動画で紹介していただきました。

◇橋幼稚園◇

子どもたちが
周困との関わり
を通して「遊ぶ」
ことを楽しめる
ようになり、コ
マ回しに熱中して遊びこむ姿を紹
介していただきました。



友達と楽しく遊ぶためのルールが自然と生まれるなど、主体性や協同性が育まれていました。

◇横浜市立池上小学校◇

入学して間もない
子どもたちが、課題
を解決するために、
自分たちの力で学校
探検を進めた姿を紹
介していただきました。



園で育んだ力を生かしたスタートカリキュラムを行ったことで、その後の学習でも主体的に学び、力が伸びていく様子が分かりました。

○3つの実践の子どもたちの姿が忘れられません。子どもがそのように学び育っていくのか質的に高い実践でよく分かりました。

○子どもは、本来学ぶことが好きで、その力も持っていることを実感しました。

○子どもたちの素晴らしい可能性について改めて気付かされました。

○それぞれで、「学びに向かう姿」を報告してもらえたので、育ちが見えました。

○乳幼児期からの学びの連続性とその大切さについて改めて気付くことができました。

ポスターセッション



- 小学校との交流をどのようにしていくかを考えるヒントとなりました。
- 小学校の先生方が、幼児期の発達について理解して学校での学習へつなげている様子を嬉しく思いました。
- 発表しているとたくさんの質問があり、充実したものになりました。
- 各地区で取り組みの内容が違い、2年目3年目とでまた違い、成果や課題も交流の中で見つけているところがとてもよかったです。

講演



- 田村先生が、実践提案とポスターセッションを理論付け、これから私たちが何をしていかなければならないかを示してくださいました。
- 田村先生のお話は楽しく、しっかり学ばせていただきました。
- 「感じ考え、行為できる子」というキーワードがとても印象にのこりました。
- 指導要領改訂部分がよく分かりました。「体験が大切」と思っている自分の子育てに少し自信がもてました。(保護者)

連絡掲示板

「4月からすぐ使える！ スタートカリキュラム研修会」

小学校対象

- ・日 時 平成31年3月27日(水) 1回目 10時～12時・ 2回目 14時～16時
- ・会 場 花咲ビル(地下鉄 高島町駅徒歩1分) 301・302会議室
※午前と午後は同じ内容です。都合のつく時間帯に参加してください。
近日中に電子申請にて募集を行います。

「横浜版接続期カリキュラム 実践事例集 第6集」

31年3月発行。4月に各園・学校に送付予定。

「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」のモデル

横浜市では、横浜版接続期カリキュラムに基づき、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成・実施をお願いしています。モデルカリキュラムをホームページに掲載していますので、ご活用ください。

保育・教育人材課 幼保小連携担当のホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/jinzai/>